

2014年度

子育て支援セミナーのご案内

相模女子大学では、子育て支援に取り組み、セミナー等を開催しています。
皆様のご応募お待ちしております。

Fax 送信先 **042-713-5082**

相模女子大学子育て支援センター主催

2014年度子育て支援セミナー 申込用紙

「気になる子の子育て支援の最前線」

< 申込情報 >

ふりがな	
氏名	
住所	〒 ー
電話番号	
ご職業 (該当に○)	保育士 ・ 幼稚園教諭 ・ 教員 ・ 心理士 ・ 子育て支援指導員 療育関係者 ・ その他 ()
備考	








< メール申し込み >

メール申し込みの場合は、メールタイトル「子育て支援セミナー申込み」として、上記の申込情報を以下のアドレスまで送信してください。

宛先：kosodateshien@mail2.sagami-wu.ac.jp

< 個人情報の取扱いについて >

セミナー参加申し込みにより、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、本セミナーの運営や相模女子大学子育て支援センターが主催する各種講演会・セミナー等のご案内にのみ使用し、漏洩・減失・毀損等がないよう安全に管理します。

-  **テーマ** 「気になる子の子育て支援の最前線」
-  **参加対象者** 相模原市及びその周辺地域の専門家
(保育士、幼稚園教諭、教員、心理士、子育て支援指導員、療育関係者など)
定員 40名
-  **会場** 相模女子大学 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
1号館 4F 141 教室 / 7号館 1F 712 教室
-  **日時** 7月26日、8月2日、9日、23日、30日 (土)
全日程 10:00 ~ 12:00
(講義 10:00 ~ 11:30 / 質疑等 11:30 ~ 12:00)
-  **受講料** 5000円 (全5回)
*第1回受講時に一括でご納入いただけます。
*分割払い、希望回のみ受講はできません。
-  **申込期間** 6月10日 (火) ~ 7月18日 (金)
-  **申込方法** メールもしくはFAXにてお申し込みください。
お申し込みされた方には、事前に「受講証」を郵送します。

mail kosodateshien@mail2.sagami-wu.ac.jp

メールタイトルを「子育て支援セミナー申込み」として、裏の申込用紙の情報を送信してください。

FAX 042-713-5082 添付の申込用紙を送信してください。

※お問合せは上記メールアドレスへお願いいたします。

「気になる子の子育て支援の最前線」

スケジュール

回	日程	各回テーマ	講師	教室
1	7月26日(土)	発達障害児の発達支援と親支援に関する最前線	尾崎 康子 相模女子大学人間社会学部・教授 子育て支援センター長	1号館 141教室
2	8月2日(土)	自閉症スペクトラムの診断意義と発達支援について ～ライフ・ステージの視点に基づいた最新の研究知見と臨床現場から～	金井 智恵子 相模女子大学学芸学部・講師 子育て支援センター員	1号館 141教室
3	8月9日(土)	障害児療育から見る子育て	高橋 眞 児童発達支援センターバンビ 地域支援室長	1号館 141教室
4	8月23日(土)	音楽療法活動の報告とワーク実演	藤本 静江 日本音楽療法学会認定音楽療法士	7号館 712教室
5	8月30日(土)	発達が「気になる」子どもの相談：特に感覚・運動と言語発達を促すポイントについて	Toth Gabor (トート・ガーボル) 相模女子大学学芸学部・教授 子育て支援センター員	1号館 141教室

各回概要

第1回 「発達障害児の発達支援と親支援に関する最前線」

講師 尾崎 康子 | 相模女子大学人間社会学部人間心理学科 教授、子育て支援センター長。
東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。博士(心理学)、臨床心理士、臨床発達心理士。財団法人小平記念日立教育振興財団日立家庭教育センター主幹研究員、富山大学人間発達科学部教授を経て、現在に至る。
専門分野：発達臨床心理学、発達障害及び発達が気になる子どもの子育て支援、ペアレントプログラムの開発

概要 近年、発達障害児への支援の考え方や方法が大きく変わってきました。従来は、行動療法や ABA に基づく行動的アプローチが中心でしたが、最近では、社会的認知発達の研究が進み、発達論的アプローチの支援が国際的に注目されています。さらに、両者を統合した包括的アプローチも進められています。これは子どもへの支援だけでなく、親への支援においても同様です。このような国際的な発達障害児への支援の最前線を紹介し、わが国での取り組みを考えていきます。

第2回 「自閉症スペクトラムの診断意義と発達支援について

～ライフ・ステージの視点に基づいた最新の研究知見と臨床現場から～

講師 金井 智恵子 | 相模女子大学学芸学部子ども教育学科 講師、子育て支援センター員。
2010年東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修了(医学博士)。東京大学医学部附属病院「こころの発達診療部」、練馬区立心身障害者福祉センター、東京家政短期大学非常勤講師などを経て、現在、相模女子大学子ども教育学科講師・昭和大学医学部兼任講師として、主に発達障害の研究・臨床に携わる。

概要 高機能の発達障害、その中でも自閉症スペクトラムを中心とした最新の研究と臨床的な支援についてお話しさせていただきます。主には、なぜ自閉症スペクトラムの診断が必要なのか、また臨床像から始まり、脳科学など最新のサイエンスを含めた研究知見を織り込みながら、さらに子どもから大人までの自閉症スペクトラムの支援について講演をします。

第3回 「障害児療育から見る子育て」

講師 高橋 眞 | 社会福祉法人 慈恵療育会 児童発達支援センターバンビ 地域支援室長。
障害者相談支援事業所アウル 相談支援専門員。心理学修士。臨床心理士、応用心理士 他。
研究分野：知的障害者・発達障害者(児を含む)のコミュニティアプローチ
実践分野：①療育相談、②知的障害者の地域生活支援・保護者相談、コーディネート、③障害者対応ボランティア育成

概要 「うちの子どもの発達遅れていないかな」「ちょっと違うかな」など母親が気づくことが7割以上という報告があります。常にそばにいる母親が最初に気づくことが多いということです。しかし、最近話題になっている発達障害の子どもたちは、おうちでは問題の見えない子どもで、集団生活を始めると顕在化する社会性の問題がある子どもが多いのです。そんな場合は、保育園や幼稚園の先生方やこどもセンターの職員の方が最初に気づくことも多いようです。子育てに期待と不安はつきものですが、不安に振り回されて、目の前の子どもの笑顔や出来ていることも見えなくなってしまうようなことがあるように感じています。そんな子育てのサイクルから抜け出すにはどんな視点を持ったらよいか考えていきたいと思えます。

第4回 「音楽療法活動の報告とワーク実演」

講師 藤本 静江 | 日本音楽療法学会認定音楽療法士。
社会福祉法人・NPO 活動法人・病院精神科デイケア等で障がい児、成人の音楽療法を実践中。武蔵野音楽大学卒業。東京心理音楽療法福祉専門学校専任講師等、歴任。日本音楽療法学会新認定音楽療法士資格取得必修講習会、講師。

概要 2011年に相模女子大学で市内のダウン症児・自閉症児支援のために始まった学生ボランティアグループによる音楽療法活動は、その後「子育て支援センター」の活動として、2013年度までに10回、音楽療法士2名、支援学生15名、参加者延べ人数158名で行われてきました。音楽療法を用いた地域支援活動として、画期的な内容となっています。この講座では、発達支援の在り方を、現場で行っているワークのいくつかを実演しながら、音楽療法士の立場から紹介します。

第5回 「発達が「気になる」子どもの相談：特に感覚・運動と言語発達を促すポイントについて」

講師 Toth Gabor (トート・ガーボル) | 相模女子大学学芸学部子ども教育学科 教授、子育て支援センター員。
横浜国立大学大学院教育学研究科修了(教育学修士)、横浜市立大学大学院医学研究科修了(医学博士)。
専門分野：発達障害に関する指導法、臨床発達心理学、脳の機能発達と学習メカニズム、言語発達およびコミュニケーション・言語リハビリテーション(発達障害とことばの相談)、音声言語医学(呼吸・発声・発語の機能)。ハンガリー生まれ「獅子座」。

概要 感覚・運動発達を促す活動で環境を自ら探索することの困難な子どもに対して、様々な姿勢をとらせたり、遊具を使って身体を動かしたりする楽しさを味わわせることがポイントです。外からの情報に対して適切な適応反応を引き出すこともポイントです。遊び活動を通して、運動動作およびコミュニケーション、認知の発達を促します。

アクセス

小田急線「相模大野駅」徒歩10分
相模大野駅の中央改札を出て右へ曲がり北口へ。
北口正面(左斜め前)のエスカレーターを降り、伊勢丹まで続くアーケード「コリドー通り」を200mほど直進します。
伊勢丹正面にある2階へつながるエスカレーターを上がります。
伊勢丹入口前を左に曲がり直進します。
階段を降り、「女子大通り」を5分ほど直進します。

住所：神奈川県相模原市南区文京 2-1-1 tel.042-742-1411(代)

